

JOB REPORT

湖の水質改善に水中攪拌機

岡山県の南部に位置する児島湖周辺は、県下有数の穀倉地帯であるが、近年の都市開発の影響で児島湖の水質が悪化している。

中国四国農政局では水質を改善し農作物への被害を未然に防ぐために、児島湖の湖底に堆積した汚泥を浚渫することになり、その工事に桜川の水中攪拌機が採用され活躍している。

工事は高濃度浚渫船で浚渫した汚泥を、まず送泥管で脱水処理ヤードへ圧送し、次に処理ヤードの貯留槽で泥水を静置させ、上澄水を排水後泥水に凝集剤を混合し桜川の攪拌機で十分に攪拌した後、脱水機に送られ処理される。

桜川の水中攪拌機は貯留槽に各10台、合計30台設置され、凝集剤投入後の高濃度泥水を均一に攪拌し、処理能力を高めることに役立っている。(工期は平成15年まで)

- 納入先 大林組・株木建設・農村基盤建設
児島湖底泥処理共同企業体工事事務所 殿
- 使用機種 水中攪拌機 SA-1.5C 30台
水中ポンプ UCF-2156 3台
(上澄水排水用・耐海水仕様)
- 貯留槽 3カ所 20m×20m×3.5m(深さ)

